

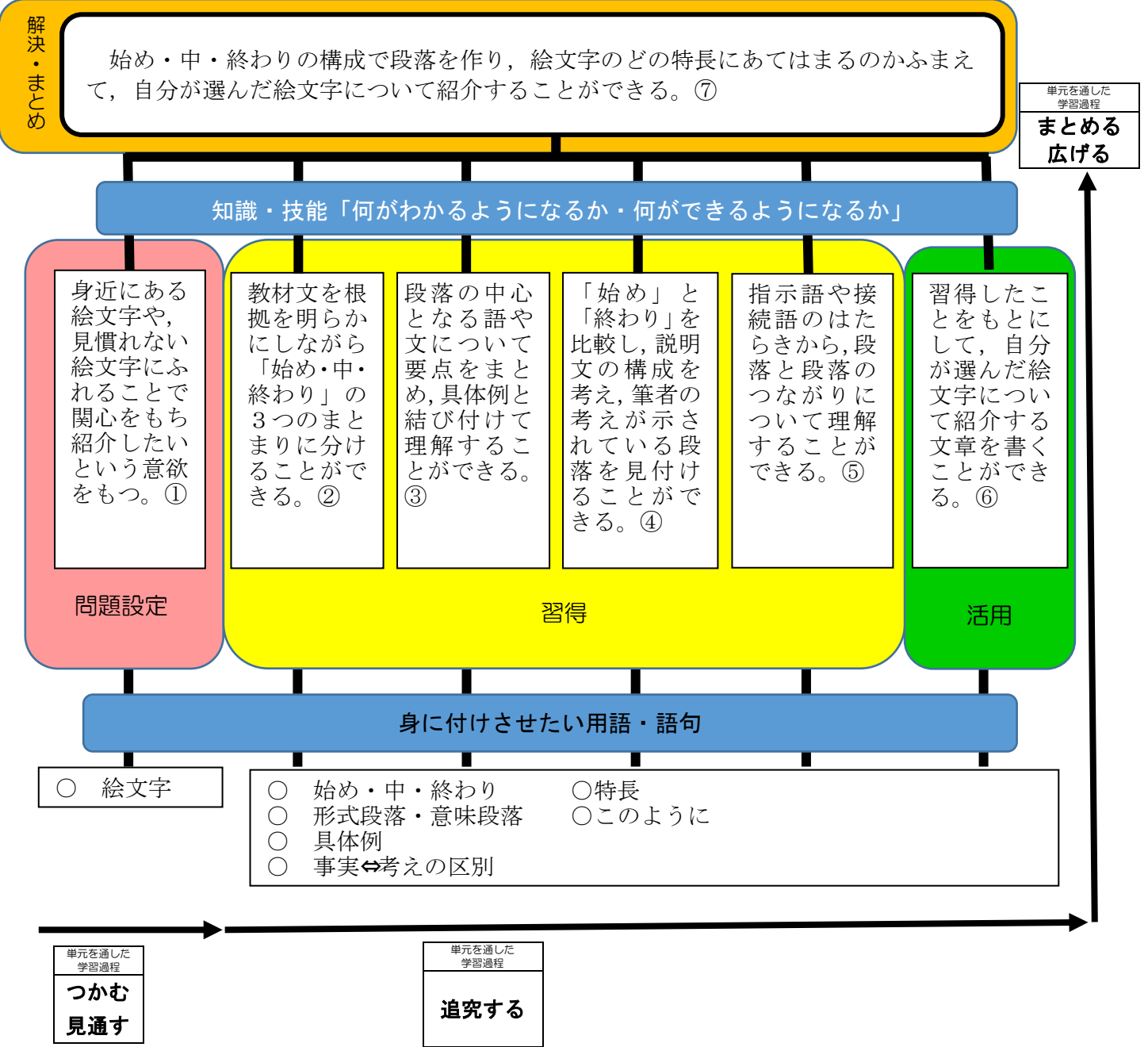
| 学年 | 教科 | 単元名 | 児童 | 場所 | 指導者 |
|----|----|---------------------------|---------|------------|-------|
| 3年 | 国語 | 絵文字について説明しよう 「くらしと絵文字」 | 3年2組33名 | 3年2組 教室 | 森谷 栄介 |

1 単元について

単元マップ

子供の深い
学びの姿

段落と段落のつながりに気を付けることや、大きなまとまりに分けて説明文を読み、絵文字の特長など理解したことをもとにして、自分が選んだ絵文字について紹介しようとする。



本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。
- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。
- 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

【学びに向かう力、人間性等】

- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝

単元・題材について

B 書くこと（1）

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

C 読むこと（1）

ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。

本単元は、段落と段落のつながりに気を付けて読み、大きなまとまりを見付け、絵文字の特長や役割などを理解することを指導する。さらに、読み取ったことをもとに、身の回りにある絵文字について説明する文章を書く活動を設定している。その絵文字が、文章中のどの特長にあてはまるかなど、文章から分かったことと結び付けて考えさせたい。

児童の実態

単元の目標

段落のつながりに気を付けて文章を読み、絵文字を説明する文章を書く。

単元の指導について

本単元は、読むことを重点指導事項とした単元であり、段落相互の関係などに着目して説明文教材を読み取った後で、単元のゴールとして絵文字について説明する文章を書くことを設定している。問題を受けて、絵文字が広く使われるわけをその特長に気を付けながら、整理して読むことや、絵文字の特長について、まとめて述べた部分と具体的に述べた部分に注意して読み、文章を要約すること、事柄の中心的な部分と補足的な部分との書き分けに気を付けて、自分が取り上げた絵文字を説明することが付きたい力として挙げられる。

そのため、「つかむ・見通す」段階では、まずは絵文字に対して児童が関心をもてるよう、身近なところで目にする絵文字や逆に見たことがないであろう絵文字を複数示し、どんなことを伝えたい絵文字なのかを考える活動を行う。そうすることで、自分も面白い絵文字を見つけてみたい、友達に紹介したい、という意欲をもてるようになる。

「追究する」段階では、「始め・中・終わり」の3つのまとまりに分けることや、絵文字の特長についてまとめている段落と具体例を挙げている段落に気付かせる活動を丁寧に指導することで、要点を読み取る力や段落のつながりに気を付けて読む力をはぐくむことができると考える。また、筆者の考えが書かれている段落はどこなのか、問を提起している段落はどこなのかなど、説明文の構成についても理解できるよう指導していきたい。

「まとめる・広げる」段階では、自分が紹介する絵文字が、文章中のどの特長にあてはまるのかなど、文章からわかったことと結び付けて考えさせたい。さらに、「始め・中・終わり」の順に段落を作ることや、場合によっては本文を引用する書き方など、紹介する文章として適切な書き方が身に付くようにしていきたいと考える。

単元の評価規準

| 【関心・意欲・態度】 | 【書くこと】 | 【読むこと】 | 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 |
|--|--|---|------------------------------------|
| ① 身近な絵文字や見慣れない絵文字に関心を持ち、自分も紹介しようとする意欲をもって学習計画をたてている。 ② 自分が選んだ絵文字についてわかりやすく紹介しようとしている。 | ① 説明する絵文字について必要な事柄を調べ、「始め・中・終わり」の構成にそって説明する文章を書いている。 | ① 時を表す言葉や問の文などを手がかりにして、段落を3つに分けて読んでいる。 ② 段落の中心となる語や文を手がかりにして、要点をまとめている。 ③ 段落の中心となる語を手がかりにして、筆者の考えが書かれている段落を見付け、まとめている。 ④ 接続語のはたらきについて理解し、段落のつながりをおさえている。 | 指示する語句と接続する語句の役割など文の構成に目を向けて読んでいる。 |

子供の深い学びの姿

段落と段落のつながりに気を付けることや、大きなまとまりに分けて説明文を読み、絵文字の特長など理解したことをもとにして、自分が選んだ絵文字について紹介しようとする。

パフォーマンスシート ～学習の目標と見通し～

学習課題

『くらしと絵文字』で読み取ったことと結び付けて、自分が見つけた絵文字を紹介しよう」

| 学習内容 | 書かれている内容に注目して『くらしと絵文字』を大きく3つの段落に分ける。 | 『くらしと絵文字』をくわしく読み、絵文字の3つの特長についてまとめる。 | 『くらしと絵文字』の「始め」「終わり」をくわしく読み、筆者の考えをまとめる。 | つなぐ言葉に注目して『くらしと絵文字』をくわしく読み、段落のつながりを確認する。 | 身近で見つけた絵文字を紹介する文章を書く。 | 見つけた絵文字を紹介する文章を交流する。 |
|---------|---|--|---|---|--|---|
| 時 | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| レベル3 | 段落のはじめの言葉や時を表す言葉に注目することがわかり、協力して、説明文を「始め・中・終わり」の3つの大きなまとまりに分ける。 | 絵文字の3つの特長について、特長と具体例とを結び付けてまとめ、他の絵文字についてもどの特長に当てはまるか考えることができる。 | 筆者の考えを見付けるには、「始め」「終わり」に注目することがわかり、筆者の考えをノートにまとめている。 | つなぐ言葉のはたらきから段落と段落のつながりをまとめ、つなぐ言葉を使った文を書くことができています。 | 「始め・中・終わり」の3つのまとまりに分けて、絵文字を紹介する文章の特長や自分の考えを入れて書いている。 | 自分の紹介する文章と、友達の文章とを比べながら聞き、特長や場所など同じところやちがうところに気を付けて聞いている。 |
| レベル2 | 協力して、説明文を「始め・中・終わり」の3つの大きなまとまりに分ける。 | 絵文字の3つの特長について、特長と具体例とを結び付けてまとめている。 | 筆者の考えが書かれているところを見付け、まとめる。 | つなぐ言葉のはたらきを考え、段落と段落のつながりがわかる。 | 絵文字を紹介する文章を、特長をいれて書いている。 | 友達の紹介する絵文字の特長を聞いている。 |
| レベル1 | 説明文の3つの大きなまとまりがわかる。 | 絵文字の特長について、書きぬいている。 | 筆者の考えがどこに書いてあるのかわかる。 | つなぐ言葉のはたらきがわかる。 | 絵文字を紹介する文章を書いている。 | 友達が何の絵文字について紹介したか聞いている。 |
| 振り返り | | | | | | |
| 振り返りの観点 | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） | できた！ わかった！ よかった！ 次がんばる！ 思ったこと その他（ ） |

| 次 | 時 | ○おもな学習活動 ・ 具体的内容 □ まとめ | 【 】 教師の評価規準 (評価方法) ◇ 到達が不十分な児童への指導の手立て ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント |
|---------------|---|---|--|
| 1次 つかむ・見通す | 1 | <p>○ 提示された絵文字が何を意味するものなのか考え、交流する。</p> <p>○ 提示した例のような記号を「絵文字」ということを知り、身近にたくさんあることに気付く。</p> <p>○ 学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>＜学習課題＞『くらしと絵文字』で読み取ったことと結び付けて、自分が見つけた絵文字を紹介しよう。</p> <p>○ 全文を通読し、絵文字に対する関心を高める。</p> | <p>【関・意・態】</p> <p>身近な絵文字や見慣れない絵文字に関心をもち、自分も紹介しようとする意欲をもって学習計画をたてている。 (発表, ノート)</p> <p>☆ 絵文字に対する関心を高め、「自分も紹介してみたい」という意欲をもてるような課題を設定する。 【思A-⑤】</p> |
| 2次 | 2 | <p>○ 形式段落に段落番号をつけ、ペアで説明文全体を3つのまとまりに分ける。</p> <p>○ 分けた根拠を明らかにしながら交流し、説明文を「始め・中・終わり」の3つに分けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問と答えの段落、特長について述べている段落に注目する ・ 時を表す言葉に注目する <p>○ 3つのまとまりの大まかな内容を短い文でまとめる。</p> <p>説明文を「始め・中・終わり」に分けるときは、段落のはじめの文や時を表す言葉に注目するとよい。</p> | <p>【読む】①</p> <p>時を表す言葉や問の文などを手がかりにして、段落を3つに分けて読んでいる。(話し合い, ワークシート)</p> <p>☆ 段落の構成が視覚的に捉えられるよう、付箋を活用したり、段落番号を動かせる板書にしたりする。 【思A-⑬】</p> |
| 追究する | 3 | <p>○ 意味段落(二)をまとめることを確認し、形式段落の範囲を確認する。</p> <p>○ 絵文字の第一の特長についてまとめ、具体例から工夫やわかることを全体で考える。</p> <p>○ 絵文字の第二・第三の特長について個人でまとめ、具体例について工夫やわかることを考え、交流する。</p> <p>○ 絵文字の例について、3つの特長のうちどの特長が一番表れていると感じるか考え交流する。</p> <p>説明文の大事なことをまとめるには、具体例と結び付けるとわかりやすい。</p> | <p>【読む】②</p> <p>段落の中心となる語や文を手がかりにして、要点をまとめている。 (話し合い, ノート)</p> <p>◇ 全体でまとめた第一の特長を例として、第二、第三の特長について書きぬかせる。</p> <p>☆ 第一の特長のまとめ方を参考にして第二・第三の特長についてまとめられるよう、解決の時間を確保する。 【思A-⑪】</p> |

| | | | |
|----------------|-----|--|---|
| 2次 | 4 | <p>○ 「始め」の部分から、絵文字の使われ方についてまとめる。</p> <p>○ 「終わり」の部分から、絵文字に使われ方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時を表す言葉など、始めと比べられるようまとめる。 <p>○ 「始め」と「終わり」のどちらに筆者の考えが書かれているのか考え、交流する。</p> <p>○ 筆者の考えについてノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>説明文の筆者の考えは、「始め」か「終わり」に書かれている。</p> </div> | <p>【読む】③</p> <p>段落の中心となる語を手がかりにして、筆者の考えが書かれている段落を見付け、まとめている。</p> <p style="text-align: right;">(ノート, 発表)</p> <p>◇ 絵文字について述べているところに着目させ、筆者の考えはどちらなのか気付かせる。</p> <p>★ 筆者の考えが述べられている段落や内容についてペアやグループで話し合い、まとめる。</p> <p style="text-align: right;">【思A-⑩】</p> |
| 追究する | 5 | <p>○ 「このように」が本文中にいくつあるか確認する。</p> <p>○ 「このように」が指している部分を考え、交流する。</p> <p>○ 「また」「さらに」について、違う接続詞に置き換えたものと比較をし、言葉のはたらきを考える。</p> <p>○ 「そればかりか」について同じはたらきをする言葉を考え、意味を確認する。</p> <p>○ 本時で扱った接続詞を使った短文づくりを行い、言葉のはたらきについて確認をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>つなぐ言葉の意味を考えて注目すると、段落と段落のつながりをとらえやすくなる。</p> </div> | <p>【読む】④</p> <p>接続語のはたらきについて理解し、段落のつながりをおさえている。</p> <p style="text-align: right;">(話し合い, ノート)</p> <p>◇ 選択肢を作ったり、置き換えたものを比較したりすることで、接続詞のはたらきに焦点化して考えられるようにする。</p> |
| 3次 まとめる・広げる | 6・7 | <p>○ 自分が選んだ絵文字について、紹介する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「始め・中・終わり」のまとまりに分けて書く。 ・ 3つの特長のうち、どの特長を自分が感じるのかについても書くようにする。 <p>○ 紹介する文章について発表し、関心をもった絵文字や発表について交流する。</p> <p>○ 単元の学習を振り返り、考えたことや学んだことをノートに書き、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>説明文の学習で学んだことを生かして文章を書くと、わかりやすい文章を書くことができる。</p> </div> | <p>【書く】</p> <p>説明する絵文字について必要な事柄を調べ、「始め・中・終わり」の構成にそって説明する文章を書いている。</p> <p>【関・意・態】</p> <p>自分が選んだ絵文字についてわかりやすく紹介しようとしている。</p> <p>★ 教師のモデルを参考にし、説明文を通して学んだことや調べたことを生かしてまとめ、発表する。</p> <p style="text-align: right;">【思A-⑮】</p> |

3 本時の学習

(1) 目標

段落のまとまりを考え、「始め・中・終わり」に分ける。

(2) 展開【 2時間目 / 7時間扱い】

*** 思考アクティブ化シートB-②【対話重視】**

| | 児童の活動 | 形態 | □教師の働きかけ ◎主な発問 ◆評価(評価方法) ☆思考を活性化させるアクティブポイント |
|--|--|----------------------|---|
| 導入 7分 | 1 前時の学習を振り返り、これからの単元の学習計画を確認する。 2 音読の練習をする。 3 本時の学習課題を確認する。 | 全 | <input type="checkbox"/> 学習計画を掲示し、視覚的に確認できるようにする。 |
| 説明文を「始め・中・終わり」に分けるには、どこに注目したらよいだろう。 | | | |
| 展開 30分 | 4 形式段落に段落番号を付け確認する。 ・教科書に段落番号を付けていく。 5 ペアで説明文全体を3つのまとまりに分ける。 ・付箋を使って操作しながら分ける。 6 分けた根拠を明らかにしながら交流し、説明文を「始め・中・終わり」の3つに分けていく。 ・「中」のつくり注目し、問いと答えの段落、3つの特長について述べられていることをおさえる。 ・問いの段落(④)が「始め」に入るのか「中」に入るのかを話し合う。 ・「始め」「終わり」にある時を表す言葉に注目し、大まかな内容を確認する。 7 3つのまとまりの大まかな内容を短い文でまとめる。 ・絵文字とはどのようなものか ・絵文字の特長についてと使われる理由 ・これからのくらしと絵文字の役わりについて | 個 ペア 全 | <input type="checkbox"/> テレビ画面に教科書を写し視覚的にわかるようにする。 <input type="checkbox"/> 始め・中・終わりの分かれるところを意識させ、どうしてそこで分けたのかを明らかにさせる。 <input type="checkbox"/> 「中」の中でもさらにいくつかのまとまりをつくることができることをおさえる。 ◎ 問いの段落は、「始め」と「中」のどちらに入れるといいだろう。 ☆ 段落の番号を動かせるように黒板に貼り、構成を視覚的にわかりやすくし、何について話し合っているのか捉えさせる。【思B②-⑪】 ◆ 時を表す言葉や問の文などを手がかりにして、段落を3つに分けて読んでいる。 |

| | | |
|----------|--|---|
| 終末 8分 | 8 学習のまとめをする。 | 全 |
| | 説明文を「始め・中・終わり」に分けるときは、問いとまとめの段落や、時を表す言葉に注目するとよい。 | |
| | 9 パフォーマンスシートに記入し、学習を振り返る。 | 個 |

(3) 評価

【読むこと】

◇ **評価規準の具体**（評価方法：話し合い・ワークシート）

十分に満足できる（A）： 協力して、説明文を「始め・中・終わり」の3つの大きなまとまりに分け、分けるときに注目する点がわかっている。

おおむね満足できる（B）： 説明文の「始め・中・終わり」の3つの大きなまとまりがわかる。

努力を要する児童への指導 問いの段落や時を表す言葉やなど、分けるときに注目するところを見付けさせる。

(4) 板書計画

| おわり (三) | なか (二) | はじめ (一) |
|--|--|---|
| <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まとめ 説明文を「始め・中・終わり」に分けるときは、問いとまとめの段落や時を表す言葉に注目するとよい。 </div> <div style="border: 1px solid white; padding: 10px; text-align: center;"> ⑮⑭⑬ これから最近では </div> | <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> ⑥⑤ 絵文字の第一の特長 </div> <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> ⑫ ⑨⑧⑦ ④ 絵文字の第二の特長 </div> <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> ⑪⑩ 絵文字の第三の特長 </div> <div style="border: 1px solid white; padding: 10px;"> たくさん絵文字が使われているのはなぜでしょうか (問いの文) ← 絵文字がたくさん使われている理由がはっきりしてくる (答え・まとめ) </div> | <div style="border: 1px solid white; padding: 10px; text-align: center;"> ③②① 昔からげんざい </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 課題 説明文を「始め・中・終わり」に分けるには、どこに注目したらよいだろう </div> |

くらしと絵文字 太田 幸夫